

熱田小児科クリニック 掲示板

9月のテーマ 『喘息』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

喘息とは…

喘息は、のどから肺に広がる空気の通り道が、急にせまくなってしまう病気です。せきやたん、そして「ゼーゼー」「ヒューヒュー」という息が出て、息をするのが苦しくなります。この空気の通り道を「気道(気管支)」といいます。喘息の人は、気道に「炎症」が起きています。炎症とは、赤くはれていることです。例えば、やけどをしたら、赤くはれて、さわると痛いんです。気道は痛くありませんが、敏感になっています。そこで、風邪をひいたり、走ったりしたときに、気道が狭くなって「ゼーゼー」「ヒューヒュー」となり、息が苦しくなる「発作」を起こしてしまいます。



喘息患者さんの気道は、症状がなくても、いつでも炎症を起こしています。そのため、ちょっとした刺激に対しても、敏感に反応して気道が急に狭くなり、発作が起こります。

喘息発作の重症度

	小発作	中発作	大発作
喘鳴	軽い	明らかにわかる	強く、遠くでもわかる
呼吸困難	ない	ある	強い
起坐呼吸	横のなることができる	横になると苦しく、座位を好む	前かがみになる
陥没呼吸	ないか、あっても軽度	明らかにある	強く陥没する
歩行時の息苦しさ	急ぐと苦しい	歩くと苦しくなる	歩行ができない
会話（機嫌）	一文区切りで話せる ※少し悪い	句で区切る程度なら話せる ※機嫌悪い	一語区切りでしか話せず、話しかけても返事ができない
食事	ほぼ普通に摂れる	食べにくくなる	食べられない
睡眠	眠れる	苦しさでときどき目を覚ます	眠れない

起坐呼吸…息が苦しくて横になることができない状態。

陥没呼吸…息を吸うときに、のどやろっ骨の間が強度にへこむこと。

アレルギー免疫療法について

アレルギー免疫療法とは、体のアレルギーに対する反応（免疫反応）を変えることで、体に免疫力をつけてアレルギー反応を起こしにくくするという、全身的、包括的かつ根本的な治療方法です。小児であれば喘息の治癒する確率を上昇させます。アレルギー免疫療法は、アレルギー疾患に対して、自然経過を修飾する可能性がある唯一の治療法です。当院では5歳以上になれば導入することが可能です。